

たじま
医療生協

今年は福崎・加西方面

第6回バスツアー開催

5月10日(木) たじま医療生協 第6回バスツアーに、45人が参加しました。今回は福崎町の柳田國男記念館ともちむぎの館、加西市の羅漢寺とフラワーセンターを訪れました。

まずは、柳田國男自身が「日本一小さい家だ」と言った、生家を見学しました。お昼は福崎名物「もちむぎ」を食べました。あまりのおいしさと、健康に良いということで、お土産にもちむぎを買



う方が続出! お店の棚の一部が空っぽになっていました。次に訪れた「羅漢寺」は3月に兵庫県の文化財に指定されたばかりで、約450体の羅漢さんは圧巻でした。最後に訪れたフラワーセンターでは、季節のお花を見てゆっくりと過ごしまし

た。「柳田國男さんの家は小さかったけど、あそこから偉人が生まれたんだなあ」「お寺とフラワーセンターはガイドさんがいて、お話も楽しくてよかった」「もちむぎが思った以上においしくて、家



の麦ごはん用とかもちむぎ団子とか、色々買った」などの感想が聞かれました。

「毎年楽しみに参加させてもらっています。来年もぜひ行きたいです」という方もおられ、帰りのバスの中で、次に行きたいところが話題になっていました。

(本部 春木圭介)

敷居の低いなじみの診療所として...
番町診療所のお花見会

神戸
医療生協



4月8日(日) 11時~13時で毎年恒例のお花見会を診療所の隣の「希望公園」で行い、組合員50名、職員6名の計56名が参加しました。新しい患者さんにも案内し参加してもらったので大変多くの参加者でした。今年は、桜が咲くのが早く2分くらいの桜しか残っていませんでしたが、患者家族の方の漫談や、ダンス、輪投げ、み

んなで踊るコーナーなど楽しく過ごすことができました。漫談は、昔プロとして漫才をやられていた話を聞いていつも付き添いで来院されていた患者さんの息子さんをお願いし、大変評判が良かったです。ダンスは、元理事をしていた組合員さんが診療所の3階で班会として練習をしているので、是非踊ってほしいとお願いしまし

た。輪投げでは、公園で遊んでいた子供連れの2家族も飛び入り参加して和気あいの雰囲気でした。

最後は、みんな「ずんどこ節」の歌に合わせて総踊りで幕を閉めました。

次の日には、「昨日は、面白かった。」「昨日は、ありがとう!」と評判もよくこれからも組合員との協同で敷居の低いなじみの診療所としてがんばっていきましょう。

(番町診療所 渡田正司)

“正解がない” というのが 医学の深み

5月12日（土）、NHKの
人気番組『ドクターG』に
出演していた大阪医科大学
総合診療科の鈴木富雄先生
をお招きし、第三回目となる
医系学生企画「病気では
なく人を診る～総合診療ワ
ークショップ」を開催。医学
部生・看護学生・薬学生
と医療系をめざす高校生・
予備校生が集まりました。



病気ではなく人を診る ～総合診療ワークショップ



2年目研修医がプレ
ゼンターとなり、臨床
の場で実際に経験し悩
んだ事例をもとに問題
提起。参加した学生た
ちは患者さんの生活背
景や思いについて想像
力を働かせ、自分が主
治医ならどうするか、
必要な援助はなにか、
白熱したディスカッシ
ョンが行われました。

医療者側が良かれと思う判断が必
ずしも患者さんにとって正解ではな
いケースもあるけれど、話し合っ
てベストな方法を探り合うことが医療
の楽しさややりがいであることを参
加者は学びました。



（2面で感想を紹介します）